

目 次

| | |
|--|----|
| 第 1 章 調査の概要 | 5 |
| 1. 調査実施の目的 | 7 |
| 2. 調査の対象 | 7 |
| 3. 調査方法と回収状況 | 7 |
| 4. 調査項目 | 8 |
| 5. 調査結果を見る上での注意事項 | 9 |
| 第 2 章 調査結果の概要 | 11 |
| 第 3 章 調査結果の詳細 | 19 |
| 1. 回答者の属性 | 21 |
| (1) 性別 | 21 |
| (2) 年齢 | 21 |
| (3) 職業 | 22 |
| (4) 世帯 | 23 |
| (5) 結婚状況 | 23 |
| (6) 配偶者・パートナーの職業 | 23 |
| (7) 子どもの有無 | 24 |
| (8) 子どもの人数 | 24 |
| (9) 子どもの年齢 | 24 |
| (10) 介護の必要な家族の有無 | 24 |
| (11) 同居の有無 | 24 |
| 2. 家庭生活について | 25 |
| (1) 家庭生活における役割分担（実態と理想）について | 25 |
| (2) 子育て経験／介護経験の有無、かかわり方について | 43 |
| 3. 男女平等に関する意識について | 49 |
| (1) 「男性は仕事、女性は家庭」という男女の役割分担意識について | 49 |
| (2) 女性と男性の地位の平等感について | 51 |
| (3) 言葉の認知度について | 68 |
| 4. 人権について | 76 |
| (1) 配偶者・パートナー間での行為における暴力としての認識について | 76 |
| (2) 配偶者・パートナーへの加害経験について | 85 |
| (3) 加害行為に至ったきっかけ | 90 |
| (4) 配偶者・パートナーからの被害経験について | 91 |
| (5) 配偶者・パートナーからの被害の相談経験について | 96 |
| (6) 相談した相手 | 97 |
| (7) 相談できなかった理由 | 98 |
| (8) 交際相手の有無 | 99 |

| | |
|---------------------------------------|-----|
| (9) 交際相手からの被害経験、同居中の被害経験について | 100 |
| (10) 交際相手からの被害の相談経験について | 103 |
| (11) 相談した相手 | 104 |
| (12) 相談できなかった理由 | 105 |
| 5. 性について | 106 |
| (1) 「LGBT」という言葉の認知度 | 106 |
| (2) 性別についての悩みの有無 | 107 |
| (3) 相談した相手 | 108 |
| (4) 性に関する正しい情報を得るために必要なこと | 109 |
| (5) 性に関する教育を始めるべき時期 | 110 |
| 6. 就業について | 111 |
| (1) 男性が育児／介護休業を取得することについて | 111 |
| (2) 取得しないほうがよいと思う理由 | 115 |
| (3) 女性が職業を持つことについての現実と理想 | 116 |
| (4) 女性が働き続けたり、再就職するために必要なこと | 120 |
| (5) 女性の管理職以上への昇進に対する意識 | 121 |
| (6) 女性が管理職以上への昇進を希望しない理由 | 122 |
| 7. 防災について | 123 |
| (1) 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があること | 123 |
| 8. 女性の活躍推進について | 124 |
| (1) 女性の活躍が進んだ時の社会・組織等の姿 | 124 |
| (2) 女性の活躍を進めるに際しての障害 | 125 |
| 9. 市の男女共同参画の推進に関する施策について | 126 |
| (1) 上尾市の施策について | 126 |
| 10. 自由記述 | 127 |
| (1) 男女共同参画に関して感じていること、市の男女共同参画施策に望むこと | 127 |

| | |
|----------------|------------|
| 第4章 調査票 | 131 |
|----------------|------------|